

中学校 1 年

相手の立場を考えて行動しよう

大阪狭山市立南中学校

教科

道徳

単元名

言葉の向こうに

本時のねらい

- ・SNS 上のトラブルが起こる中、異なる立場の者どうしでのコミュニケーションについて考える。
- ・他者の思いや立場を考えて行動する意欲をもつ。

本時における 1 人 1 台端末の活用方法とそのねらい

- ・オクリンクを利用し、顔の見えない相手に対してのコミュニケーションをシミュレーションさせる。
- ・学校の 1 人 1 台端末を、生徒個人のプライベート端末に見立てて道徳の授業をおこなうことで、生徒の率直な反応を引き出し、授業前半と後半でどのように変容したかを見取る。

活用した ICT 機器・デジタル教材・コンテンツ等

- ・オクリンク

本時で育む主な情報活用能力

N-STEP 2, N-STEP 4
Q-STEP 3, Q-STEP 4

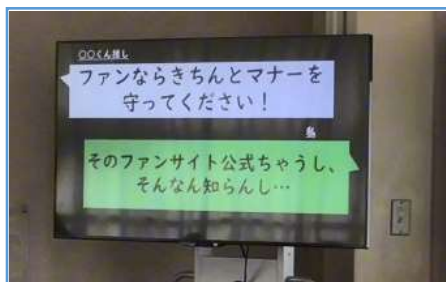
該当番号の詳細内容は
「大阪府情報活用能力
ステップシート」から確認できます。



本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT 活用のポイント・工夫
導入 (10分)	・とあるファンサイトの画面上でのやり取りを見せ、最後のやり取りを役割ごとに考える。【写真 1】 ・考えたことをオクリンクで提出し、共有する。【写真 2】	・実際の SNS 上でのやりとりに近い状況を画面に提示し、学校の 1 人 1 台端末を生徒個人のプライベート端末に見立てて授業をすることで、他者へのかかわり方、発言等をシミュレーションしやすくする。 ・オクリンクで共有することでスムーズな話し合い活動へつなげる。
展開 (35分)	・道徳教材「言葉の向こうに」を読む。 ・「必死に反論する私がエスカレートしたのはなぜだろう」を考える。 ・「思いっきり外の空気を吸ったとき、私はどんなことを考えたのだろう」を考える。 ・全体での発表をおこない、考えを深める。 ・再度、「私」になりきり、導入でおこなった最後のやり取りについて内容を考え、提出する。【写真 3】	・実際に起きるトラブルを ICT 機器を使用して画面上で体験することで、トラブルをより自分事としてとらえ、道徳的心情を導き出しやすくする。 ・導入のときと、交流をしたあととで、生徒どうしのやり取りから、どのように変容したかを視覚的にわかりやすく見取る。
まとめ (5分)	振り返りを記入する。	

1 人 1 台端末を活用した活動の様子



【写真 1】画面上にうつされたスライド



【写真 2】（授業前）生徒たちの書き込み



【写真 3】（授業後）生徒たちの書き込み

児童生徒の反応や変容

自分たちが普段よく利用している SNS で、実際に発生している事例に近いものを例として画面上に出したことで、活発な意見交流がなされた。その中で、立場の違いや、環境、考え方によって意見の相違が生まれることを再認識することができた。また、授業前と授業後の発言を画面上に残すことで、視覚的・客観的に自分自身の心の変容を理解できた生徒が多かった。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- ・情報モラル教育には、1 人 1 台端末は非常に有用である。1 人 1 台端末上でも様々なトラブルが発生している現状を逆手に取り、1 人 1 台端末そのものを使って情報モラル教育を実践した。
- ・授業前と授業後の心の変容を客観的・視覚的に生徒が感じるうえでも 1 人 1 台端末の活用は有効だった。